

Wish

【ウィッシュ】

私たちは「ワーカーズ・コレクティブ」で起業しています

ワーカーズ・コレクティブとは、生活者の視点から地域に必要な「もの」や「サービス」を市民事業として事業化し、全員が出資・経営・労働する働き方です。

地域とつながる
「食」のおもしろさにやりがいを感じて

interview

佐々木 百合香 さん

食のワーカーズ おむすび cafe 粒

北広島市美沢 1 丁目 1-2 生活クラブ館・北広島 1 階

TEL 011-372-3777 〈2014 年設立・会員 6 名〉

北広島市で食のワーカーズと代理人として活動する佐々木百合香さんに食への想いや活動の両立について伺いました。

*市民が生活を自治するために、市民ネットワーク北海道は市民の代理人(議員)を議会へ送り出しています。



ささきゆりか 録画したアニメを夫と観ながら晩酌するのが、楽しみであり息抜きです

ワーカーズとの出会い

3 人の子どもの子育てをしながら、市民運動や生活クラブでの組合員活動をしていました。実母との同居を機に、主婦業の負担が軽くなったこともあって、働くことを考えるようになりました。働くなら、これまで続けてきた運動や活動と両立したい。そして、自分が社会に求めるものと自分が身を置く場所(仕事)が一致できていたら、と思っていました。そんな時に「粒に來ればいいしょ!」と誘っていただき、3 年ほどサポーターとして参加した後に、ワーカーズのメンバーとなりました。

粒に入ってみて感じること

会議資料一枚にしても、メンバーになりたての時は受け取るだけでしたが、会計になってからは経理と資料作りの作業が加わりました。事業に関しても、自分たちで決め自分たちで組み立てることの大変さと醍醐味を感じています。2019 年から会計を担当するようになり、前任者の苦勞が理解できるようになりました。事業を起こすことも続けていくことも大変ですが、そこに価値を見出せるから続けられるのだと思います。また、やりたいことを一つずつ実現



店内で器展を開催した時の様子

できるところはワーカーズならではの感覚を感じています。

調理に関しては何年やってもうまくなった気がしないのですが、「美味しい!」と言われることに喜びを感じたり、食材が料理に変わっていく様子は面白いと思います。そんな中で仕事をしていると、人が生きているということに近い場所にいるのだなと実感します。

やりがいと難しさ

ワーカーズの一員であるとともに、代理人(北広島市議会議員)としての活動もあり、シフトを調整してもらいながら両立しています。それでも、議会に向けての準備や会期中には時間がいくらあっても足りなくなるので、普段から「ゆっくり急ぐ」を心がけています。夜と朝の 2 時間を机に向かう時間にあてるなど、計画的に早め早めに動くことで時間のゆとりを保てるよう工夫しています。議会中は、会議が終わった後で粒に寄って買い出しをしたり閉店後のレジ上げをしたり、できることをしています。家庭においても成人した娘を含む 3 人の子どもたちが私の忙しさを察してくれて、ありがたいです。

コロナ下で通常の生活が戻りつつあるなか、メンバーの皆と話していると、不定期に行っていた土曜 cafe の復活や、楽しい企画・イベントなど、アイデアがどんどん出てきます。メンバーやサポーターが増え、それが実現できるようになる日を心待ちにしています。

【取材 / 岡田・吉田】

理事会より

たすけあいの日 フォーラム を開催しました



『やってみようたすけあい』～あなたのまわりの小さな困りごとをみんなで解決しよう～

北海道たすけあいワーカーズ主催で、地域の中でできる身近なたすけあいを考える機会としくみづくりのきっかけとなることを目的に、フォーラムを開催しました。会場とオンラインで約 100 名の参加があり、熱心に報告を聞く様子に関心の深さが伝わりました。



2022/10/15 かでる 2.7

第1部

『今なぜ地域のたすけあいが必要なのか』をテーマに、札幌市社会福祉協議会地域福祉課係長の西川圭さんが講演。「高齢者 1 人を 20 ～ 64 歳の人を支える社会構造において、2025 年では高齢者 1 人を 1.8 人で、60 年には 1.2 人で支えることが推測される。しかし介護人材はすでに不足しており、30 年には介護人材の需給に対し供給が 7 割になるとの報告も。では、どう解決すべきか。高齢者の社会参加が介護予防につながり、生活を維持する。また、介護の専門家を始めボランティア、近所、サロンやサークルなどで人とのつながりを増やし、困ったときに助けてと言える関係をつくるのが大切。そのために札幌市の生活支援体制整備事業が進められている」と話されました。



第2部

たすけあう関係づくりを目的に活動している 5 団体が、地域の必要を感じて主体的に活動を継続することでつながりを増やしている様子を報告しました。【生活クラブ生協】組合員同士のたすけあい「エッコロ」の目的と組合員活動支援から日常支援への取り組みの拡大の経緯【子育て支援ワーカーズ】親子ひろばなどで集めたアンケートに「コロナ禍の子育ては本当に大変で、孤立が募りました」などの声があり、地域に安心して通える場がある良さを再認識したこと

第3部

パネルディスカッションを開催。実践団体がお互いに意見交換をすることで、公的な生活支援体制整備事業の担い手として地域の困りごとを解決するイメージを拡げることができました。

協賛団体の生活クラブ生協、市民ネットワーク北海道とは日頃からまちづくりの活動を通して連携しています。たすけあいワーカーズとの共通の理念でもある『お互いさまのたすけあい』をテーマに、今後も地域福祉の充実をめざした取り組みを継続していきます。

起業カフェへ
どうぞ!

「これから何ができるか考えてみたい」「ワーカーズってなあに?」という方向けに、カフェを開催します。カフェ開催日以外でも、電話での問い合わせや来所に対応いたします。お気軽にお立ち寄りください。参加は無料です。

会場 北海道ワーカーズ・コレクティブ連絡協議会

開催日時

1/26

2/16

3/30

木曜日

14:00～16:00

プレゼント付き!

クイズ

北広島市のたすけあいワーカーズの名前は? (ヒントはP2-3)

① くるみ ② どんぐり ③ まつぼっくり

正解者の中から抽選で 2 名様に、『ワーカーズ・コレクティブ 労働者協同組合法を知る』をプレゼント!

応募方法

FAX またはメールで、名前・住所・電話番号・クイズの答え・ワーカーズの方は所属名を、下記の北海道ワーカーズ・コレクティブ連絡協議会まで送ってください。締切りは、1 月末日。



■発行 / 特定非営利活動法人 北海道ワーカーズ・コレクティブ連絡協議会

〒060-0041 札幌市中央区大通東 2 丁目 15-1 サラサビル 4 階 A 号室

☎ 011-596-0650 FAX 011-596-0651

Email wco28@athena.ocn.ne.jp

http://hokkaido-workers.org

■発行責任 / 齊藤 佳代子 編集責任 / 理事会 制作 / ブランズ EPO

■年 4 回発行 年間購読料 / 1000 円



連協 HP

業 種	団体数
食	7
福祉	10
子育て	11
学童	2
業務請負	2
リサイクルと環境雑貨&カフェ	1
編集・事務	1

1986 年に設立。34 団体約 465 名が加入しています。